
憑依

桂 ヒナギク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

憑依

【Nコード】

N8040C

【作者名】

桂 ヒナギク

【あらすじ】

とある連続殺人犯少女は山奥の小屋で男を斧で殺害。そして少女はその男に・・・

(前書き)

一番怖いのは殺人犯より幽霊かもね

人里離れた森の奥の更に奥にひっそりと聳える小さな木の家。

男はその家の一室で斧を持った少女に困って斬り刻まれていた。

少女は息を切らしながら男を斬り続ける。その度に男の血が飛び散り、少女の顔、服、スカート等を赤く染めあげる。

「良いわこの手応え！最高よ！」

少女はそう言って斧を捨て、バラバラに成った男の死体を見下ろして笑みを浮かべた。

その時、少女は背中に冷たい物を感じ、鳥肌を立たせると共に、背後から何かの気配を感じた。

（見られた？）

少女は恐る恐る後ろを向くが、誰もいない。

少女は気の所為かと、安堵の溜め息を吐いた。

「っ！？」

少女は金縛りに遭った。

『よくも殺してくれたな』

と、頭の中に響く声。

誰？ 少女はそう口にしよと思ったが、金縛りの為か、口が全く動かない。

『俺はお前が殺した男だ』

（嘘、でしょ！？）

『お前の体は乗っ取らさせて貰った』

（何よそれ！？）

『お前が俺を殺したりするからだぞ。連続殺人犯目』

（・・・・・・）

『さて、これからどうしようか？』

少女は傍らに斧を見付けた。

先程、男をバラバラにした斧だ。

『よし、この斧でお前の首を斬ろう』

少女は斧を拾った。

(やめて・・・！)

少女は冷や汗を掻いた。

『自分に自分の首を斬られるのが怖いかな？』

少女は斧を上に乗げた。そして一気に振り下ろした。

(お願いだからやめて！殺さないで！私の体ならあげるわ！だから・・・！)

振り下ろされた斧は首元迄残り約1センチの所で止まった。

『やーめた』

少女は斧を捨てた。

『じゃあ、遠慮無く体を貰うぞ』

頭に響く声が治まると、少女の意識は飛んだ。

少女は体の自由を確かめると、ニヤリと北叟笑んだ。

その後の事は誰も知らない。

この少女がどうなったのか、何処で何をしているのかも。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8040c/>

憑依

2010年10月10日07時19分発行